

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 前期課程、後期課程5年一貫教育により修了時に学位が取得できる指導体制を確立する。	→研究職コース指導委員会のあり方を再確認し、指導状況の報告の増大。	A	B			
2. 前期課程修了者の一定の資質を確保する。	→各専門分野において他研究科目も含めた履修プログラムのモデルの提示。	C	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.2.1	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 (説明) 教育内容の概要については、『大学院履修要綱』で説明するとともに、オリエンテーションを通じて、適確な履修を促進、指導している。各学期の履修申請時にも指導教員の承諾を要することとしている。(意見交換後、削除。IV. 追加記述参照)
☆ 小項目6.2.2	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。 (説明) 専門分野の高度化ないしは細分化については、特別講義等の開講によって適宜対応している。また、商学研究科の特性として、一定の実務教育について配慮する必要があるが、これについても寄附講座の提供、実務経験のある講師の招聘によって適宜対応している。
その他	

《評価指標データ》

MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
 ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
 専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	
☆小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	
☆小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	
☆小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	
☆小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○「目標」2点とも昨年からの進捗評価に変化があります。「効果が上がっている事項」「改善すべき事項」として記述することはないのでしょうか。

【学内委員】

○「現状の説明」の6.2.1は質問に対し説明の内容がずれているのではないのでしょうか。教育課程の体系的な編成について尋ねていますが、院生への履修指導のあり方について説明されています。

○小項目6.2.1の現状説明は、ここで求められている説明になっていませんので、修正の必要があります。目標1の進捗評価が2009年より下がっている理由は何でしょうか。

○両小項目共、本記述では現状が分かりません。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

・自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことかわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

・現状説明は要素などを参考にしてもう少し現状について説明してください。

・6-2-1項目の現状説明は項目の内容と適合していません。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.2.1

基盤評価：「【学士】当該学部の教育における教養教育、専門教育の位置づけを明らかにしていること」「【修士・博士】当該研究科等の教育におけるコースワーク、リサーチワークの位置づけを明らかにしていること」「【専門職】当該研究科等の教育における理論教育、実務教育の位置づけを明らかにしていること」

達成度評価：「当該学部・研究科の教育課程の編成・実施方針に従い、学生に期待する学習成果の修得につながる教育課程となっている」（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のことが明らかであるかに留意する。）

・方針と教育課程の編成・実施実態の整合性

・学生の順次的・体系的な履修への配慮

・各学位課程の固有の課題に応える措置（例えば、学士課程においては、初年次教育・高大連携への配慮など）

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

指摘を受けて、次の修正を反映下さい。

《現状の説明》小項目6.2.1を削除、追加記述

「教育課程の編成・実施方針に基づいて授業科目を編成している。商学研究科は現在、経営、会計、マーケティング、ファイナンス、ビジネス情報、国際ビジネスの6分野を設置しており、各分野で最先端の研究を行うとともに学際的な研究・教育にも力を注いでいる。理論的な裏付けのある専門的知識・技能を習得すると同時に、企業提供科目など実務界で中核として活躍されている方々による授業やインターンシップ制度など、知識、技能も修得できるようなカリキュラムを編成している。」

《現状の説明》小項目6.2.2の（説明）に追加記述

「教育課程の編成・実施方針に基づいて各課程において教育内容を提供している。商学研究科ではビジネス社会の変化も踏まえ、高度な洞察力と分析能力を有する研究者と職業人を輩出することを強く意図して、課程博士の早期取得を目指す「研究職コース」と、実業界で中核的役割を果たす人材を養成する「専門学識コース」の2つのコースを設けている。」

効果が上がっている事項【点検・評価（1）】のその他に追加記述

★「目標2について、学生の過半数である中国からの留学生に対して、日本語でのプレゼンテーション、論文作成をサポートする科目の履修を積極的に指導し、多くの学生が履修した。」

効果が上がっている事項【次年度に向けての方策（1）】のその他に追加記述

「まだ履修していない学生に対して、さらに履修を指導し、修士論文の作成を通じて、前期課程修了者の一定の資質をさらに確保したい。」

改善すべき事項【点検・評価（2）】のその他に追加記述

「目標1について、学位取得プロセス図を設定し、履修案内などで学生に公表、周知しているが、ホームページに記載されていないため社会には公表されていない。」

改善すべき事項【次年度に向けた方策（2）】にその他に追加記述

「今後は、学位取得プロセス図をホームページに掲載し、社会一般に対しても公表、周知を図りたい。」